



生きがいと健康づくりの推進 ⑮

なごやかクラブ守山 喜多山クラブの活動紹介



海川会長

会員の減少傾向はなかなか止められませんが、友愛サロン活動を通じてクラブに関心を持ってもらう努力をしています。木村さんはじめ皆さんの活動でクラブの活気も取り戻しつつあります。特に女性の力を借りてクラブ内を活性化したいと思います。

喜多山クラブでは、21名の会員で年間33の行事を行っています。今回注目の内容は、クラブの中に「麦の会」の名称で展開する友愛サロンです。得意な領域を活かし、体調を崩した時や突然一人になり寂しい気持ちになった時でも近況を話したり、お喋りしたり、笑ったりして元気になれる場を提供します。会の名称は、まっすぐに伸びた麦の穂が夕日を浴びて黄金色に輝く麦畑のごとく強い気持ちで元気に生きていく願いを込めて付けました。その中心メンバーである木村郁子さんにお話をお伺いしました。



「会発足のきっかけは区老連の作品展でした。出展を募集しましたが、わずかで、また共同で作品を作る仕組みもありませんでした。そこで、わいわいとお喋りしながら一緒に何かを楽しむ相互交流の場を設けました。発足後3年が経過し、現在も毎月1回福祉会館の会議室で開催しています。コロナ禍で一時中断しましたが、令和5年度の区老連作品展には多くの共同作品を出展しました。メンバーも特に募集するまでもなく、当初の6名から会員外も含めて24名に増えました。自宅の楽しみができたり、会の行事以外で誘い合っただけで出かけたりするなど、別の効果もありました。月1回の開催ですので、LINE(ライン)などを活用して欠席者への情報共有も欠かさないように工夫しています。参加人数が多くなったことで、世話役が複数必要になるなど課題もありますが、今後も無理強いない範囲で活動を心掛け、地域の楽しい交流の場として継続できることを目指したいと思います。最後に男性会員が少ないので、参加をお待ちしています」



市老連健康マーじゃん大会

3月19日、健康マーじゃん大会がJR名古屋駅近くの麻雀ウイングで開催されました。今大会は今年度第2回目となり、定員48名で実施しました。健康マーじゃんは、ねんりんピックの正式種目に採用されており、今回もそのルールを適用しての開催です。

当日は各卓で楽しそうな会話を交わしながら、皆さん慣れた手つきで試合は進みました。参加者の皆さんからは、「皆さんと楽しく遊べました」「各地区で普及して欲しい」「地元に戻ってから麻雀好きと話し合って広めていきたい」などの意見が出ていました。大会は3試合行い、その総合得点で順位を決定しました。試合の結果は次のとおりです。

【大会結果】※敬称略

- 優勝 後藤 康之 (中村区)
- 準優勝 池田 哲雄 (東区)
- 3位 春藤 政義 (守山区)



お花見ウォーキング

令和6年度お花見ウォーキングを4月5日に平和公園で開催しました。今年も暖かい日が続く、開催前は桜が散ってしまわないか心配していましたが、開花も遅れて、当日はほぼ満開で絶好のウォーキング日和となりました。

地下鉄東山公園駅を出発後、猫ヶ洞池を一周し、桜の園の満開の桜を愛で、途中平和堂も見学しながら桜ウォーキングを楽しみました。「最高の気分でした」「満開でとてもうれしかった」などウォーキングを満喫していました。

今回の参加者数は市老連58名、JASS4名の計62名でした。